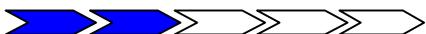
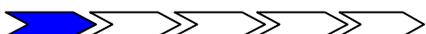
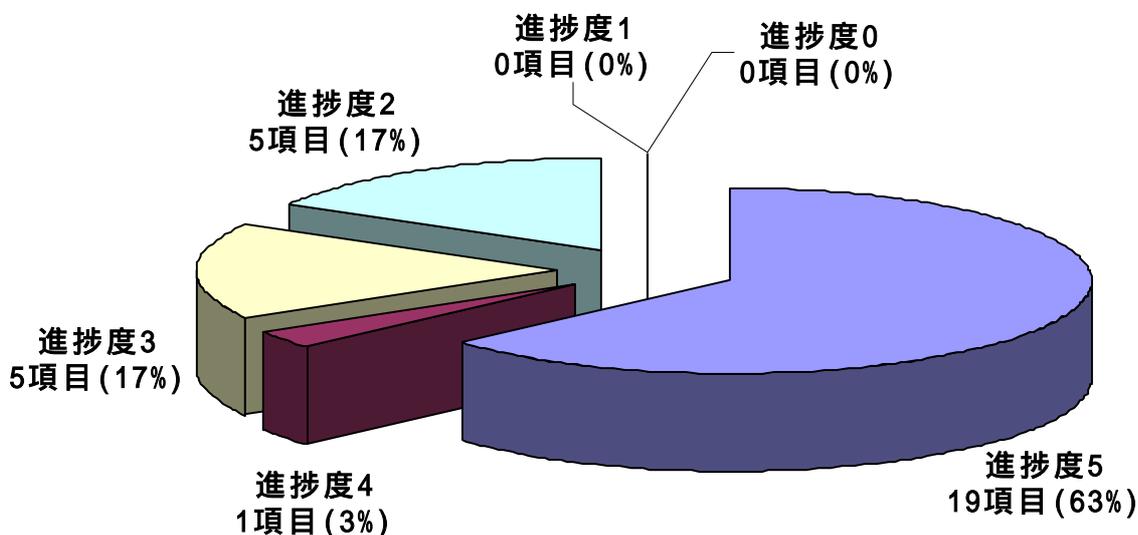


市長公約の取組状況について

各項目の進捗度の表示方法

進捗度：5		100%実施済（継続実施含む）
進捗度：4		70～90%程度実施
進捗度：3		50～60%程度実施
進捗度：2		30～40%程度実施
進捗度：1		10～20%程度実施
進捗度：0		未着手

進捗度総括（19年度実績）



19年度実績

- 約63%、19項目が実施済（完了）または、実施済（継続実施）の状況である。
- 約3%、1項目が7～9割程度の実施状況である。
- 約17%、5項目が5～6割程度の実施状況である。
- 約17%、5項目が3～4割程度の実施状況である。
- 1～2割程度の実施、または、未着手の項目はない。

市長公約取組状況一覧

平成20年4月1日現在

1 行革をすすめ、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！

第3次行革計画、財政健全化プランなどの現行計画を検証し、これからの苦小牧に必要な新たな行財政改革計画を策定します

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>行政改革については、「第3次行政改革推進計画」に基づき、着実に実施しました。一部、進捗の遅れはあるものの概ね計画どおりの実施となっています。</p> <p>財政健全化については、「新財政健全化計画」により数値目標を設定し、集中期間として取組を強化しました。</p>	<p>行政改革については、「第3次行政改革推進計画」の実施内容や効果を示しながら着実に実施します。また、懇話会の意見を求めるなどして、今後の行政改革のあり方を検討します。</p> <p>財政健全化については、「新財政健全化計画（ローリング版）」に基づき、集中期間2年目として取組をさらに強化します。</p>	ソフト	<p>総務部行政改革推進室</p> <p>財政部財政課</p>

ごみ収集の民間委託、市営バスの民間移譲、学校給食センターの民間委託について取り組み、各種業務の委託化を推進し、民間活力を積極的に取り入れたコンパクトな行政を目指します

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>ごみ収集業務については、4台分を民間委託するとともに、20年度からの委託拡大について、取組を進めました。</p> <p>市営バスについては、民間移譲を前提とした「新経営5カ年計画」をスタートさせました。</p> <p>学校給食センターについては、PFI可能性調査を実施し、民設民営による調理場改築を検討しましたが、経済効率性を優先させた従来方式での改築を行うことに決定しました。</p> <p>高砂下水処理センター業務については、20年度からの平日の夜間及び休日の全日における運転管理業務の民間委託に向けた取組を進めました。</p>	<p>ごみ収集業務については、4台分の民間委託拡大を目指し、取組を進めます。</p> <p>市営バスについては、21年度からの委託に向けて「受委託事業者選定委員会（仮称）」を設置します。</p> <p>学校給食センターについては、調理場改築へ向け、実施設計・地質調査を行うとともに、調理業務について、直営、民間委託それぞれの運営体制や運営費等を比較検討します。</p> <p>高砂下水処理センター業務については、平日の夜間及び休日の全日における運転管理業務の民間委託を実施します。また、次年度以降の委託業務の拡大に向けて取組を進めます。</p>	ソフト	<p>総務部行政改革推進室</p> <p>環境衛生部清掃事業課</p> <p>交通部総務課</p> <p>学校教育部学校給食共同調理場</p> <p>上下水道部総務課</p>

周辺自治体との連携を強め、それぞれの特色を生かせる広域活性化戦略を進めます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>広域連携プロジェクトによる「フリーゲージトレイン」に関する調査・研究や、「地産地消café2007」を開催したほか、「オールいぶりフェア」や「東胆振地産地食フェア」などの周辺自治体と連携したイベントを開催しました。</p>	<p>「オールいぶりフェア」や「東胆振地産地食フェア」などの周辺自治体と連携したイベントを引き続き開催するほか、胆振管内の自治体で高速鉄道輸送に関する研究会を立ち上げ、「フリーゲージトレイン」を含めた調査・研究を進めます。</p>	ソフト	企画調整部企画課

市長公約取組状況一覧

平成20年4月1日現在

地方分権に対応できる自治体として必要な条例・制度の整備を行います

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>4月から「自治基本条例」を施行し、条例制定記念事業などにより、条例の啓発活動を行うとともに、市民参加フォーラムやワークショップなど、「市民参加条例（仮称）」の制定に向けた取組を進めました。 【予算計上した事業】 市民自治推進事業：500千円</p>	<p>「自治基本条例」に盛り込まれた主要な項目の実現に向け、全庁的な取組をさらに推進するとともに、「市民参加条例（仮称）」の制定に向けて、取組を進めます。 【予算計上した事業】 市民自治推進事業：500千円</p>	ソフト	企画調整部 企画課分権 評価推進主幹

指定管理者制度を進め効率的運営と市民サービスの拡充に努めます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>新たに5施設（高丘霊葬場、豊川コミセン、沼ノ端コミセン、住吉コミセン、のぞみコミセン）で指定管理者制度導入を決定し、20年4月から運営を開始します。</p>	<p>新たに3施設（文化交流センター、勤労青少年ホーム、川沿体育館）で指定管理者制度の導入に向けた取組を進めます。</p>	ソフト	総務部行政 改革推進室

21世紀の苦小牧を描く新たな基本構想に着手し、総合計画を策定します

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>新たな将来ビジョンと発展の方向を示し、まちづくりの基本指針となる基本構想を定め、「総合計画第5次基本計画」を策定しました。 【予算計上した事業】 総合計画策定事業：5,000千円</p>	<p>基本構想に掲げる「人間環境都市」の実現に向けた、まちづくりの指針となる「第5次基本計画」に基づき、各施策に取り組みます。</p>	ソフト	企画調整部 企画課

市長公約取組状況一覧

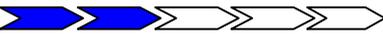
平成20年4月1日現在

2 自然を生かし、環境と調和のとれた美しいまち苦小牧 守ります！

リサイクルの推進とごみの減量化を図ります

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>ノーレジ袋・マイバック持参運動の推進、廃食油資源化促進事業、ペットボトルキャップ集めなど、全53ユニットで構成する「053大作戦」をまちぐるみで展開し、ごみの減量化とリサイクルの推進を図りました。 【予算計上した事業】 ゼロごみ大作戦推進事業：21,000千円</p>	<p>「053大作戦」の考え方を継承した取組を継続するとともに、新たに「資源回収団体奨励金制度」を設け、集団回収活動を積極的に推進します。 【予算計上した事業】 053（ゼロごみ）推進事業：3,000千円 資源リサイクル運動推進事業：8,000千円</p>	ソフト	<p>環境衛生部 資源リサイクル推進室</p> <p>環境衛生部 清掃事業課</p>

京都議定書に基づく地域での推進計画を策定し、環境破壊から苦小牧を守ります

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>「地球温暖化対策地域推進計画」の策定に向け、市内温室効果ガスの排出量調査及び市民・事業者アンケートを実施しました。 【予算計上した事業】 地球温暖化対策地域推進計画策定事業：200千円</p>	<p>本市の自然的・社会的条件に応じた「地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、温暖化対策を推進します。 【予算計上した事業】 地球温暖化対策地域推進計画策定事業：3,000千円</p>	ソフト	<p>環境衛生部 環境保全課</p>

第58回全国植樹祭を成功させ、緑と花のまちづくりを進めます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>6月24日に静川地区において「第58回全国植樹祭」を開催しました。また、市民参加による公園等の植栽や花壇の造成のほか、花壇・花づくり講習会やコンテストを通じ、グリーンフルプラン21の普及・啓発活動を行いました。 【予算計上した事業】 第58回全国植樹祭推進事業：13,000千円</p>	<p>市民参加による公園等の植栽や花壇の造成のほか、花壇・花づくり講習会やコンテストを通じ、グリーンフルプラン21の普及・啓発活動を行い、緑と花のまちづくりを進めます。</p>	ソフト	<p>全国植樹祭推進事務局 (企画調整部企画課)</p> <p>都市建設部 緑地公園課</p>

市長公約取組状況一覧

平成20年4月1日現在

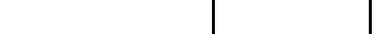
美々川流域の自然環境保全地域指定に向けた活動を続けていくとともに、水質汚染や騒音への監視をしていきます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>自然環境保全地域指定については、重点要望事項として関係機関へ要望しました。 大気・水質・騒音などの環境監視については、常時及び定期的に測定するとともに、航空機騒音監視システムを更新し、監視体制の機能強化を図りました。 【予算計上した事業】 航空機騒音監視システム整備事業：8,334千円</p>	<p>自然環境保全地域指定については、引き続き重点要望事項として関係機関へ要望します。 大気・水質・騒音などの環境監視については、常時及び定期的に測定するとともに、大気汚染測定機器の更新及び移動式航空機騒音測定装置を増設し、監視体制を強化します。 【予算計上した事業】 公害測定機器整備事業：6,300千円</p>	ソフト	環境衛生部 環境生活課 環境衛生部 環境保全課

上下水道事業の将来計画を定め、快適な都市機能を維持します

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>水道事業の目指すべき将来像を描き、その実現のための方策等を示す「水道ビジョン」を策定しました。 【予算計上した事業】 水道ビジョン作成業務：8,686千円</p>	<p>「水道ビジョン」に基づく事業を推進し、将来に向けて持続可能な水道を目指します。</p>	ソフト	上下水道部 総務課

環境にやさしいエネルギーの導入に向けて調査研究を進めます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>市民団体との懇談会や、庁内関係課との新エネルギー利用促進連絡会議を開催し、廃食油の再利用、バイオエタノールの製造実験、太陽光発電状況調査を行いました。また、市公用車に低公害車1台導入しました。</p>	<p>市民団体との懇談会や、庁内関係課との新エネルギー利用促進連絡会議を開催し、新エネルギーに関する調査・研究を進めます。また、廃食油を再利用したBDF燃料をごみ収集車に利用するとともに、低公害車1台を導入します。</p>	ソフト	経済部工業 労政課

市長公約取組状況一覧

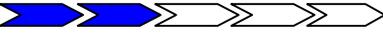
平成20年4月1日現在

3 産業流通の活性化、働く人の明るい笑顔あふれるまち苫小牧 導きます！

苫小牧港の多様な港湾機能を高めるとともに、市民が親しめる港づくりを進めます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>東港区については、外貿コンテナ貨物の取扱拠点の集約化を図るため、中央ふ頭多目的国際ターミナル関連施設の整備を進めるとともに、連続バースの調査に着手しました。</p> <p>西港区については、既存岸壁の老朽化対策整備を継続するほか、漁港区の改良整備に着手しました。</p> <p>市民が親しめる港づくりについては、北ふ頭緑地の整備を継続しました。</p> <p>【予算計上した事業】 苫小牧港管理組合負担金 ：1,502,879千円</p>	<p>東港区については、国際コンテナターミナル機能を東港区へ一括シフトし、引き続き中央ふ頭多目的国際ターミナル関連施設や耐震強化岸壁の整備を進めます。</p> <p>西港区については、既存岸壁の老朽化対策やふ頭間道路を整備するほか、漁港区の改良整備に向けた調査・設計を実施します。</p> <p>市民が親しめる港づくりについては、引き続き、北ふ頭緑地を整備します。</p> <p>【予算計上した事業】 苫小牧港管理組合負担金 ：1,487,849千円</p>	ハード	企画調整部 空港港湾課

交通・流通・医療・広域連携など様々な機能充実を図ることのできる、中央インターチェンジの建設に着手します

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>現況測量や各種調査、概略設計等を進めるとともに、関係機関との協議を重ねました。</p> <p>【予算計上した事業】 苫小牧中央インターチェンジ（仮称）調査業務 ：14,000千円</p>	<p>橋梁予備設計や地質調査、環境調査等を進めるとともに、関係機関と協議を重ね、設置許可に向けた手続きを進めます。</p> <p>【予算計上した事業】 苫小牧中央インターチェンジ（仮称）調査業務 ：17,000千円</p>	ハード	都市建設部 道路建設課

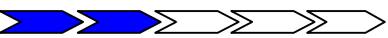
トップセールスによる企業誘致を積極的に進め、雇用を確保し、地元中小企業の振興を図ります

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>工業団地の優位性や、企業立地助成優遇措置などを強く前面に出し、地元経済界、関係団体と連携を図りながら、トップセールスや企業訪問活動、工業団地視察会などの誘致活動を積極的に展開しました。</p>	<p>引き続きトップセールスや企業訪問活動、工業団地視察会、企業立地セミナーなどの誘致活動を積極的に展開します。</p>	ソフト	経済部企業 誘致主幹

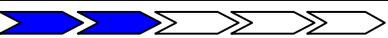
市長公約取組状況一覧

平成20年4月1日現在

市域の東西バランスを図るとともに、市中心街への居住人口の増加策を進めます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>市域の東西バランスについては、東側では、人口増加に対応するため、ウトナイ小学校を開校させるとともに、青翔中学校の新設に着手しました。西側では、施設の老朽化に対応するため、消防署錦岡出張所の移転新築に着手するなど、均衡あるまちづくりを進めました。</p> <p>中心市街地については、中心市街地活性化検討委員会等の中で、まちづくり関係者などとまちなか居住の促進に向けた検討を行いました。</p>	<p>市域の東西バランスについては、東側では、青翔中学校の新設を進めるとともに、プール機能を併せ持った健康増進施設の新設に着手します。西側では、消防署錦岡出張所の移転新築を進めるとともに、錦岡地区の児童センター新設に着手するなど、引き続き均衡あるまちづくりを進めます。また、各地域の利便性向上を図るため、土地利用の実態や動向を勘案し、都市計画用途地域見直しの検討を進めます。</p> <p>中心市街地については、旭町の道営住宅を寿町の旧高等看護学院跡地に移転建替するとともに、引き続きまちなか居住を誘導するための施策の調査・研究を進めます。</p>	ソフト	<p>企画調整部 都市計画課</p> <p>経済部中心 市街地活性化対策室</p>

ビジット苦小牧観光会議の開催と体験型観光誘致を進めます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>観光案内所の充実や観光ボランティアガイドの活用により、観光客の受入体制を充実するとともに、既存施設を利用した体験型・学習型モデルコースの策定など、官民一体となって検討しました。</p>	<p>苦小牧観光の魅力発信や、体制整備などを目的とした「ビジット苦小牧観光会議」の立ち上げへ向け、関係機関との協議を進めるとともに、体験型・学習型モデルコースの普及を図り、新たな体験型観光施設の発掘に努めます。</p>	ソフト	<p>経済部商業 観光課</p>

地産地消 - 今後も農水産物の使用拡大について検討していきます

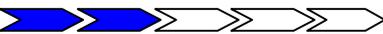
19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>「東胆振物産展」、「東胆振地産地食フェア」、「地産地消café」などのイベントを通じて、地産地消の取組を推進するとともに、学校給食において、ホッキ貝や胆東米など、地元産品の使用拡大を図りました。</p>	<p>「東胆振物産展」、「東胆振地産地食フェア」などのイベントを通じて、地産地消の取組を進めるとともに、地産地消の大切さを広くPRします。また、ホッキ貝のブランド化を推進し、消費の拡大を図ります。</p>	ソフト	<p>経済部農業 水産課</p>

市長公約取組状況一覧

平成20年4月1日現在

4 お年寄りや子供たちが安心して暮らせるまち苦小牧 育てます！

静和荘の改築、老人福祉センターの移転改築などにあわせ、複合的な施設の検討を進めます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>静和荘については、23年度オープンを目指し、整備計画を策定しました。 老人福祉センターについては、旧市立総合病院南棟への移転を決定し、高齢者の健康増進や子育て支援、教育研究などの機能を備えた複合施設として、21年4月オープンに向け、取組を進めました。 【予算計上した事業】 旧市立総合病院南棟改修設計事業 ：14,805千円</p>	<p>静和荘については、23年度オープンを目指し、静和荘移管先法人選定委員会（仮称）を設置し、移管先法人を公募により選定します。 老人福祉センターについては、移転先に決定した旧市立総合病院南棟の改修工事を進め、21年4月オープンを目指します。 【予算計上した事業】 養護老人ホーム静和荘移管事業 ：300千円 旧市立総合病院南棟改修事業 ：1,017,700千円</p>	ハード	<p>保健福祉部 介護保険課</p> <p>保健福祉部 老人ホーム</p> <p>保健福祉部 老人福祉センター</p>

子育て、家事、介護をサポートする福祉のステーション作りを進めます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>子育て、家事については、子育て支援機能を備えた旧市立総合病院南棟の複合施設において、サポートする取組を進めていくこととし、21年4月オープンに向け、準備を進めました。 介護については、市内に設置した地域包括支援センター3カ所と支所3カ所において、高齢者に対する介護予防をはじめ、保健・医療・福祉など生活に関わるさまざまな相談に応じ、総合的なより良い支援に努めました。</p>	<p>子育て、家事については、旧市立総合病院南棟に、市内4カ所目となる地域子育て支援センターを21年4月に開設するため、取組を進めます。 介護については、地域包括支援センター3カ所と支所3カ所において、引き続き高齢者に対する介護予防をはじめ、保健・医療・福祉など生活に関わるさまざまな相談に応じ、総合的なより良い支援を目指します。</p>	ソフト	<p>保健福祉部 児童家庭課</p> <p>保健福祉部 介護保険課</p>

障害者が安心して暮らせるまちづくりを目指し障害者自立支援事業を充実させます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>障がい者が住み慣れた地域で生活できるよう「障害者計画」と「障害福祉計画」を策定し、地域生活支援の充実を努めました。</p>	<p>地域生活支援事業を充実するため、新たに障害者就労相談員を配置し、就労支援を強化するとともに、委託による専門的職員の配置や、相談室を整備するなど、相談支援体制の機能強化を図ります。</p>	ソフト	<p>保健福祉部 社会福祉課</p>

市長公約取組状況一覧

平成20年4月1日現在

活火山を有する道内自治体との連携を火山サミットを通じて強化するとともに、災害時応援協定の充実を図ります

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>火山サミットについては、18年度に本市で開催しましたが、今後も、道内の火山のある地域で継続的に開催し、関係自治体との連携を強化します。 災害時応援協定については、苫小牧造園組合と災害時における防災活動等の協力に関する協定を締結しました。</p>	<p>火山サミットについては、今後も、道内の火山のある地域で継続的に開催し、関係自治体との連携を強化します。 災害時応援協定については、北海道コカ・コーラボトリング(株)と災害時における飲料供給を目的とした協定を予定しており、今後も関係団体との応援協定締結に努めます。</p>	ソフト	市民部防災主幹

新市立病院の救急体制の充実や市域の拠点病院として高度医療に取り組みます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>救急担当看護師を専任配置するとともに、救命士等とのホットライン通信状況を改善し、ドクターヘリの受け入れを促進したほか、時間外受付場所の整備を行い、新市立病院の救急体制の充実を図りました。また、「地域医療連携ネットワーク」の構築に着手するとともに、PET/CTによるがん治療に加えて、放射線治療装置を新たに導入するなど、高度医療の充実を図りました。 【予算計上した事業】 医療器機器整備：436,100千円</p>	<p>急病センターとの機能分担を進めるとともに、二次医療提供が必要な救急患者に対して、速やかな治療が可能となるよう、関係スタッフ確保と体制強化を行い、引き続き救急体制の充実を図ります。また、放射線治療装置による治療を開始するなど、今後も高度医療の充実に取り組みます。 【予算計上した事業】 医療器機器整備：42,000千円</p>	ソフト	市立病院

防犯、交通安全、弱者支援などのために地域の自主防災組織づくりを進め、地域の力の増強を図ります

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>自主防災組織リーダーの育成を目的とした市民防災講座や防災研修会を開催するとともに、防犯パトロール用具の貸出や、防犯だよりやホームページを活用して防犯情報を提供するなど、自主防犯パトロール隊の活動を支援しました。また、小学校・幼稚園・地域の老人クラブ・町内会などで交通安全教室を開催し、地域の交通安全教育に努めました。 【予算計上した事業】 自主防災組織育成事業：300千円</p>	<p>自主防災組織の活動による新たな助成金制度の創設や、自主防災組織リーダー養成講座を開催するなど、組織の充実を図り、弱者支援に努めるとともに、引き続き自主防犯パトロール隊の活動を支援し、地域の安心・安全に取り組みます。また、交通安全教室を開催し、交通ルール・マナーなど市民意識の向上に努めます。 【予算計上した事業】 自主防災組織育成事業：500千円</p>	ソフト	市民部防災主幹 市民部交通安全主幹

市長公約取組状況一覧

平成20年4月1日現在

5 心の通い合う、やさしい音楽の流れる温かなまち苦小牧 愛します！

「氷上の甲子園」（全国高校アイスホッケー大会）を充実発展させるとともに、苦小牧へのアイスホッケー留学について検討してまいります

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>「第2回全国高等学校選抜アイスホッケー大会」の開催にあたり、クラブチームや選抜チームでの出場を可能とするなど、出場枠の拡大を図るとともに、「氷上スポーツ育成事業」を展開し、競技者の育成と底辺の拡大に努めました。 【予算計上した事業】 全国高等学校選抜アイスホッケー大会補助：7,000千円</p>	<p>「第3回全国高等学校選抜アイスホッケー大会」の開催にあたり、出場枠をさらに拡大するとともに、試合数の増加やスキルコンテストの実施など、大会をさらに充実発展します。また、「氷上スポーツ育成事業」を継続し、競技者の育成と底辺の拡大に努めます。 本市へのアイスホッケー留学については、ナショナルトレーニングセンター事業の活用などを含め、検討を進めます。 【予算計上した事業】 全国高等学校選抜アイスホッケー大会補助：7,000千円</p>	ソフト	スポーツ生涯学習部スポーツ課

アルテンなどを会場に青少年の音楽祭やミュージックキャンプを開催します

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>市内の小中学生を対象に管楽器の演奏レベルの向上と交流を深めながら音楽への関心と感性を育むことを目的とした「青少年ミュージックキャンプチャレンジ2007」を実施しました。 【予算計上した事業】 ミュージックキャンプ事業：500千円</p>	<p>宿泊キャンプを行うとともに、演奏楽器の種類を増やすなど、「青少年ミュージックキャンプ」のグレードアップと参加者増に努めます。 【予算計上した事業】 ミュージックキャンプ事業：1,000千円</p>	ソフト	スポーツ生涯学習部生涯学習課

図書館・博物館運動を起こすとともに体育文化施設の改修計画を策定し、段階的にリニューアルを図ります

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>図書館・博物館運動については、多くの市民参画により、活動を企画・展開し、開かれた図書館・博物館運営を推進することとして、ボランティアによる読み聞かせや市民団体との連携行事、自然観察会などを実施しました。 体育文化施設の改修については、総合体育館空調機や白鳥アリーナザンボニーの改修、川沿体育館トレーニング機器整備などを実施しました。</p>	<p>図書館・博物館運動については、引き続き、市民の参画を得て図書館や博物館の事業を積極的に展開し、ボランティアや友の会等の団体と連携協力しながら、施設の運営と事業の展開に取り組みます。 体育文化施設の改修については、実施計画に基づき、計画的に各施設のリニューアルを図ります。</p>	ソフト ・ ハード	スポーツ生涯学習部中央図書館 スポーツ生涯学習部博物館 スポーツ生涯学習部スポーツ課

市長公約取組状況一覧

平成20年4月1日現在

特別支援教育を推進するための体制整備を図り、その内容を検討し、実施します

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>特別支援教育担当指導主事を1名配置したほか、教育相談員を2名増員し、教職員の特別支援教育の研修を充実しました。また、新たに大成小学校など4校に特別支援学級を設置しました。 【予算計上した事業】 特別支援教育推進校内研修費：378千円 特別支援学級設置事業：34,500千円</p>	<p>新たに錦岡小学校など4校に特別支援学級を設置します。また、特別支援教育支援員4名を配置するほか、数校を単位としたエリア構成による特別支援教育の充実を図ります。 【予算計上した事業】 特別支援教育推進校内研修費：378千円 特別支援教室支援員設置事業：4,822千円</p>	ソフト	学校教育部 指導室

公平、平等な社会の実現のための施策を推進します

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>4月から施行した「男女平等参画推進条例」に基づき、新たな基本計画策定に向けて検討を進めました。</p>	<p>「男女平等参画推進条例」に基づき、「とまこまい男女共同参画プラン21」を見直し、新たな基本計画を策定します。 【予算計上した事業】 男女平等参画基本計画策定業務：300千円</p>	ソフト	市民部女性 政策課

市民同士の国際交流を進め、国際都市苫小牧を育てます

19年度の実施内容	20年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>姉妹・友好都市交流として、ネーピア市に中学生13名と高校生2名を派遣したほか、秦皇島市には友好10周年の記念事業に向け、事前調査団を派遣しました。また、足元からの国際交流として、留学生への市営バス無料乗車証の交付や、在苫外国人との交流事業「ぐるーりWORLD交流会」を開催しました。 【予算計上した事業】 国際友好都市交流事業：800千円 こども国際交流事業：4,900千円 在苫外国人交流事業：5,100千円</p>	<p>秦皇島市との友好10周年を記念し、「秦皇島市友好10周年市民交流事業」を開催します。また、「多くの市民の国際交流への参加を通じ、国際都市づくりを進める」という基本的考え方を実現する場として、庁舎内に国際交流サロンを開設します。 【予算計上した事業】 国際友好都市交流事業：3,200千円 こども国際交流事業：2,100千円 在苫外国人交流事業：5,100千円</p>	ソフト	企画調整部 国際交流主幹